

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	年2回の防災訓練は、実施できているも夜間帯職員の人数が少ない中での訓練や夜間の連絡体制など、訓練実施や振り返りが不十分である。	昼夜問わず、ご利用者様の生命や安全を第一に考えた、避難誘導を職員全員が行えるようになる。	避難訓練は、昼間、夜間、両方を想定した訓練を実施する。参加できなかった職員はマニュアルの回覧、管理者が指導していく。緊急連絡網を見直し、再度職員へ周知を行う。ホーム内消防設備の取り扱いの勉強会も避難訓練時に、実施をする。	12ヶ月
2	1	ホーム開設時、掲げた「みゆき」独自の理念があるが、事務所内に掲示しているのみで、職員に浸透していない。	理念を職員全員が理解をし、理念に基づいたケアの実践につなげる。	事務所内に掲示している、理念を毎朝唱和をする。毎月のユニット会議の冒頭で振り返りを行う。	12ヶ月
3	33	重度化や終末期ケアについての、事例などを聞く機会がなく、職員が知識をえる機会がない。	重度化や終末期に関する知識を学び、ご利用者様1人1人が望む最後や今後向かえる課題について個々の職員が考えるようになる。	他事業所の事例を管理者、リーダーが聞き、会議の場などで、職員へ事例を伝える。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。